

信州大学医学部附属病院 高度救命救急センターに
入院中または過去に入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年12月3日

「高度救命救急センターにおける ABCDEF バンドルの実践による薬剤使用状況および患者アウトカムへの影響」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4576
研究課題名	高度救命救急センターにおける ABCDEF バンドルの実践による薬剤使用状況および患者アウトカムへの影響
所属(診療科等)	高度救命救急センター
研究責任者(職名)	松尾 純(薬剤師)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年6月30日
研究の意義、目的	当院における ABCDEF バンドル導入後の影響を明らかにすることを目的とした研究で、入院期間、せん妄発症率の低下等に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2019年1月1日から2019年6月30日の期間に当センターに入院し、気管挿管管理を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、入院期間、せん妄有病率、薬剤使用量など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、バンドル導入前後で各種診療記録の改善の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 松尾純(薬剤部、薬剤師) 電話:0263-37-3022

既存の診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を被ることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。